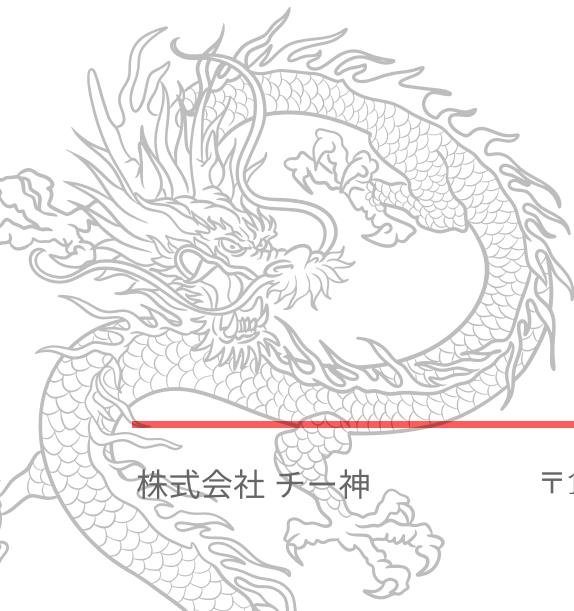


～ワクワクwellness～

心身魂のお掃除処



*2/2~3 八海山寒行・節分祭 参加ご希望の方は佐藤まで、連絡ください。



お知らせ

12/30~1/3 年末年始休業

01/27 コトタマワーク & 護摩祈祷

01/28 当院 護摩祈祷

【祈りは、どこへ向かっていくのか】



コトタマ倶楽部・月1回ゆっくり学ぶ



眠りから目覚める 佐藤智江 HP



次期講座のために、スライドを一枚一枚整えながら、あらためて感じたことがあります。佐藤は今も、お護摩を焚きます。祓いもします。それは、今の時代には、まだ必要なものだと感じています。でも同時に、いつか、それさえも必要なくなる時代がもっと早く来てほしい。そんな思いも、心の奥に静かにあります。祓いも、お護摩も、本来は「人の心を整えるための補助」だったはず。もし、人が自分の内側に自然と還れたなら、祈りが特別な行為ではなく、日々の在り方そのものになったなら、焚かなくても澄んでいる。祀らなくても敬っている。そんな世界があってもいいのではないかと、思うのです。仏壇も、神棚も、なくなるというより、外に置かれていたものが、内側に還っていく。そんな感覚です。

ご先祖はお墓の中ではなく、生き方の中に息づき、神は祀る対象ではなく、生き方そのものとして現れる。

では、その「内側」とは、どこなのでしょうか。佐藤は、日本語という日常のことばの一音一音に、祈りそのものが、響いている。そう感じています。特別な道具も、特別な形もなく、私たちはすでに日本語を話すその瞬間から、祈りとともに生きている。だからこそ、祈りは儀式ではなく、生き方として息づいていくのだと思うのです。

新しい年の始まりは、何かを足すより、すでに在るものを見い出す時間。次期講座のスライドを整えながら、佐藤はそんな未来をあらためて思い描いていました。まだ焚く。まだ祈る。でも、それに依存しない。その“間”に立ちながら、これから講座も、丁寧にお伝えしていきたいと思います。

祈りが 暮らしとなり 生き方そのものが 神となる

家呑みトモごはん

【レタスのワサビスープ】

- ①鍋に水とだしを入れて火にかけ、沸騰直前で、レタスをちぎって入れる。（煮過ぎない）
- ②豆腐・塩・醤油で味を整え 溶き卵。
- ③火を止めてからワサビ（約200ccの水に、チューブのもので、6~7cm…結構入れます）
- ④盛り付けの時、白ごまを♪
香付けの油次第で、和・洋・中アレンジもGU~~

